



2022年5月13日

各 位

会社名 元 気 寿 司 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 法 師 人 尚 史  
(コード番号 9828 東証スタンダード)  
問合せ先 経 理 部 長 森 田 栄 一  
( T E L 028-632-5711 )

## 特別利益の計上、特別損失の計上及び 通期業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期連結決算において、特別利益の計上、特別損失の計上及び2021年10月29日に公表した通期業績予想と本日発表の実績に差異が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別利益の計上について

2022年3月期第4四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大に関する、各自治体からの営業時間短縮要請に伴う感染拡大防止協力金について、1億8千5百万円の助成金収入を計上いたしました。

また、当社米国子会社において「給与保護プログラム (Paycheck Protection Program)」(以下「PPPローン」)の第1回および第2回の融資を受けておりましたが、この度、第1回のPPPローンについて、返済免除の通知を受けたため、3億6千2百万円の債務免除益を計上いたしました。

なお、第2回のPPPローンについては、2022年3月期第3四半期連結会計期間に返済免除の通知を受けております。

これらにより、当期の特別利益の累計は、固定資産売却益2百万円、助成金収入14億2千9百万円、債務免除益5億8千8百万円、合計20億2千万円となりました。

#### 2. 特別損失の計上について

2022年3月期第4四半期連結会計期間において、店舗等のうち収益性が低下した資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、4億5千8百万円の減損損失を計上することといたしました。

これにより、当期の特別損失の累計は、固定資産売却損8百万円、固定資産除却損4千1百万円、減損損失5億2千万円、賃貸借契約解約損3千9百万円、合計6億9百万円となりました。

### 3. 通期業績予想との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

#### （1）2022年3月期通期連結業績予想数値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 45,100	百万円 540	百万円 540	百万円 820	円 銭 92 89
今回実績（B）	44,607	263	274	1,328	150 50
増減額（B－A）	△492	△276	△265	508	
増減率（%）	△1.1	△51.2	△49.2	62.0	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	38,252	△452	△420	△443	△50 19

#### （2）2022年3月期通期個別業績予想数値との差異

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 41,300	百万円 460	百万円 470	円 銭 53 24
今回実績（B）	41,082	192	803	91 02
増減額（B－A）	△217	△267	333	
増減率（%）	△0.5	△58.2	71.0	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	35,720	△14	△322	△36 52

#### （3）差異の理由（連結・個別）

連結・個別の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による第6波等の影響は一定程度受けることを織り込んでいましたが、国内においては営業時間短縮・酒類販売制限の要請期間が想定以上に長期間となったこと、海外においては一部の地域で感染拡大による規制の影響を想定以上に受け、売上高は予想を下回ることとなりました。

また、営業利益及び経常利益は売上高が想定を下回ったことに加え、原材料価格の高騰に伴い原価率が上昇したこと等により予想を下回ることとなりましたが、上記「1. 特別利益の計上について」、「2. 特別損失の計上について」のとおり、特別損益を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を上回ることとなりました。

以上